

企画展
近代百貨店の誕生
三越呉服店

特別展

2016年NHK大河ドラマ

首領丸



感謝の心を忘れずに

江戸東京博物館では常設展示を改修し、昨年3月28日に、装いも新たにリニューアルオープンいたしました。

リニューアルに際しては、新しいコーナーや模型を数多く設けたり、演出や設備の充実をはかったりしました。とくに多言語化対応やバリアフリーにも力を注ぎました。

あれから一年、来館者はさらに増加しました。以前よりとても良くなったというお客さまの声をお聞きするたびに、全職員とボランティア、一丸となつての努

力の甲斐があったと嬉しく存じています。何といたっても、常設展示は博物館の王道だからです。

それにしましても、古い伝統を持つ他の博物館にくらべ、開館してからわずか23年というまだ若い当館を、ここまで成長させていただきましたのは、ひとえに当館を愛し、温かく育んでくださった皆さま方のお陰です。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

今後とも、皆さま方への感謝の心を忘れることなく、老若男女国籍を問わず、だれにもやさ



江戸東京博物館
館長

竹内 誠

しく、おもてなしの心豊かな博物館となるよう努めてまいります。そして魅力あふれる江戸東京の伝統文化を、さらに力強く発信し、感動していただく博物館を目指します。

また、今まで地道に培ってきました地域の方々や学校団体、アジアや欧米諸国の博物館との交流を、一層深めてまいりたいと念じております。

末筆ながら、皆さま方のさらなるご支援とご協力の程お願い申し上げます。

新設された「ひばりが丘団地」(東京ゾーン)



2016年度
(平成28)
特別展
予定

1F特別展示室では今年度も多彩なラインナップの展覧会を開催いたします。世代を問わず、多くの皆様に楽しんでいただけるテーマをどうぞご期待ください。

特別展、企画展、どれも気になる！常設展と一緒にまるごと楽しんでね!!



江戸東京博物館
公式キャラクター
ギボちゃん

2016年NHK大河ドラマ
特別展

真田丸

4月29日(金・祝)～6月19日(日)



頭形兜(真田信繁所用)
江戸時代 高山山 蓮華定院蔵

<<< 詳しくは特別展紹介ページ
P3-4 ご覧ください。

大妖怪展

土偶から妖怪ウォッチまで
7月5日(火)～8月28日(日)



葛飾北斎『北斎漫画 十二編』
資料番号:06200472

<<< 詳しくは特別展紹介ページ
P4 「次回予告」をご覧ください。

よみがえれ!

シーボルトの日本博物館

9月13日(火)～11月6日(日)



キヨソネによる
晩年のシーボルトの肖像

江戸時代、二度にわたり来日のうえ膨大な日本コレクションを形成したシーボルトは、それらをヨーロッパへと持ち帰り「日本博物館」を構想しました。その内容を紹介します。

戦国時代

11月23日(水・祝)～
2017年(平成29)1月29日(日)

戦国時代は様々な人が活躍し、文化・芸術ともに豊かな時代でした。その様相を歴史資料や美術工芸品から見ていきます。



『武田信玄像』
資料番号:85975317

18世紀の江戸と北京(仮)

2017年2月18日(土)～

4月9日(日)

18世紀における江戸と北京の歴史や生活、文化を展観することで、相互理解を深め、両都市の未来と友好を考える契機にします。



『三百六十行図』鳥籠作り
清末～民国初 首都博物館蔵

2016年度(平成28)
主な企画展

※展覧会名称および
会期は変更する
場合があります。

2016
発掘された日本列島

6月4日(土)～7月24日(日)

全国で毎年8000件行われている発掘調査の中から、最新の成果やとくに注目された出土品を紹介します。新潟県・六反田南遺跡から出土した造形美豊かな縄文土器や、奈良県・中山瓦窯跡から出土した平城京大極殿院の鬼瓦などが出品されます。

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公・真田信繁（幸村）。彼は、「大坂の陣」において、活躍した勇将です。

のちの信濃国上田城主真田昌幸の次男として生まれた信繁は、めまぐるしく主君を変える真田家において、はじめは上杉景勝、その後豊臣秀吉の人質として暮らしました。慶長5年（1600）の関ヶ原合戦では、父・昌幸とともに石田三成が率いる西軍につき戦いましたが、西軍は敗退。昌幸と信繁は九度山（和歌山県）に幽閉の身となります。

しかし、信繁に転機が訪れます。豊臣家と徳川家による最終決戦「大坂の陣」が起こる

と、信繁は大坂城へ入城。慶長

19年の大坂冬の陣において信繁は、大坂城の東南に真田丸と呼ばれる出丸を築いて徳川方を迎え撃ち、その武名を天下に知らしめます。翌年の大坂夏の陣では、寡兵ながらも果敢に徳川方を攻め、その奮戦ぶりは家康に死を覚悟させるほどだったと後世に伝えられています。最後は兵力で勝る徳川方に敗れ大坂城は落城、信繁はその生涯を閉じました。

この展覧会では、NHK大河ドラマ「真田丸」と連動し、真田信繁ゆかりの品や歴史資料などの紹介を通じて、信繁の人間像と彼が生きた時代を浮き彫りにしていきます。



“日本一の兵”真田信繁を描いた肖像画
真田信繁画像
江戸時代 高野山 蓮華定院蔵

イチオシの資料

特別展

2016年NHK大河ドラマ

真田丸



信繁とともに豊臣方で活躍した
後藤又兵衛所用の具足
日月電文蒔絵仏胴具足
後藤又兵衛所用 大阪城天守閣蔵

イチオシの資料

information

2016年NHK大河ドラマ
特別展 真田丸

会期 2016年4月29日(金・祝)～6月19日(日)
休館日 毎週月曜日(5月2日、5月16日は閉館)
開館時間 9:30～17:30(土曜日は19:30まで)
※入館は閉館の30分前まで。

観覧料(税込)	特別展専用券	特別展 常設展共通券
一般	1,350円 1,140円 (1,080円)	1,560円 (1,240円)
大学生 専門学校生	1,080円 870円 (860円)	1,240円 (990円)
高校生・65歳以上	680円 470円 (540円)	780円 (620円)

※赤文字は特別展前売料金です。
※()内は、20名以上の団体料金。
※前売券は3月1日(火)～4月28日(木)まで販売。
※会期中は当日料金で販売。
※次の場合は観覧料が無料です。中学生以下。
および身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・
精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳を
お持ちの方と、その付き添いの方(2名まで)。

主催 公益財団法人東京歴史文化財団
東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション
協賛 日本写真印刷、ハウス食品グループ本社、
みずほ銀行
特別協力 大阪城天守閣、真田宝物館(長野市)
チケット 東京都江戸東京博物館、チケットぴあほか主要
販売 プレイガイド(手数料がかかる場合があります)

えどはくカルチャー特別関連講座

- ①再考 真田三代について
5月26日(木)
降幡浩樹(真田宝物館 学芸員)
- ②大坂の陣と真田丸の攻防
6月2日(木)
大澤研一
(大阪歴史博物館企画広報課長 学芸員)
- ③江戸時代と「真田幸村」伝説
6月9日(木)
田原 昇(当館学芸員)

※時間はいずれも14:00～15:30
※往復はがきによる事前申込制となります。
応募方法や受講料など詳細は、当館ホームページ、
および館内配布のチラシなどでご確認ください。

次回特別展予告

特別展
「大妖怪展 土偶から妖怪ウォッチまで」
2016年7月5日(火)～8月28日(日)



重要文化財 伝土佐光信「百鬼夜行絵巻」(部分)
室町時代(16世紀) 京都・真珠庵蔵
展示期間: 8月2日(火)～28日(日)(予定)

本展では、日本の妖怪画を幅広く紹介します。見どころは、まず妖怪の姿のルーツとして、重要文化財の京都・真珠庵蔵「百鬼夜行絵巻」や国宝の奈良国立博物館蔵「辟邪絵」など、貴重な名品を多数展示することです。また、江戸時代の多彩な妖怪の姿を、浮世絵や版本などでたっぷりご覧いただけます。夏にふさわしく、幽霊画も登場します。最後は、縄文時代の土偶と、今の子供たちに人気の「妖怪ウォッチ」を取り上げ、時を越えて異形のものに関心を寄せ続ける私たちの心を、再確認していただきます。



イチオシの資料

大坂の陣で奮戦した信繁の様子が描かれた屏風
大坂之陣図屏風
江戸時代 石川県立歴史博物館蔵

プロローグ 日本一の兵、真田信繁

大坂の陣で活躍し、たぐいまれな勇将として名を馳せた真田信繁。彼に関する同時代の資料はあまり残っていません。まずは信繁の肖像画や数少ない所用の品々を通じて、その息吹に触れていただきます。

第1章 武田と真田

信濃国小県郡真田郷を本拠とする真田家は、武田家の家臣として次第に頭角を現しました。主家滅亡後、織田・北条・徳川・上杉などの大勢力の狭間で、幾多の難局を乗り越え、生き残りを図ります。真田家が信仰した四阿山(あづまやま)関係の資料や武田家関連の資料から、真田家の出自を探ります。

第2章 第一次上田合戦から 小田原合戦

築城間もない上田城を舞台にした「第一次上田合戦」で徳川家康に勝利を収め、「真田」の名は一躍天下に知られます。豊臣秀吉による天下統一が進む中、真田家の守る名胡桃城(なぐるみじょう)が北条家に奪われる事件が発生。この事件をきっかけに「小田原合戦」が起き、天下は秀吉のものとなります。大勢力の狭間で生き残りをかけて

戦う真田家の動静を示す古文書の数々が、当時の様子を語りかけます。

第3章 関ヶ原合戦と真田

関ヶ原合戦において、父・昌幸と信繁は西軍に、兄・信之は東軍に属し、親子兄弟が敵味方に分かれて戦う事態となります。昌幸・信繁親子は上田城に立て籠もり、徳川本隊を率いて東山道を進む徳川秀忠と対決。秀忠を関ヶ原合戦に遅参させる戦功をあげました。合戦の経過を絵巻物とした「関ヶ原合戦絵巻」などを通じて、真田家と徳川家の対決を浮き彫りにします。

第4章 真田家と桃山文化

信繁の兄信之所用の武具をはじめ、桃山時代を象徴する金地屏風や小袖・南蛮漆器などにより、当時の文化的背景をうかがえます。

第5章 大坂冬の陣・夏の陣

関ヶ原合戦ののち昌幸と信繁は九度山に幽閉の身となり、昌幸は生涯を終えます。大坂冬の陣に参陣した信繁は大坂城東南に不落の出丸「真田丸」を築いて徳川方を撃退するものの、夏の陣では奮戦空しく討死を遂げます。豊臣方諸將の武具・甲冑や様々な合戦図を展示。大坂の陣を生々しく描きます。

エピソード 信繁から幸村へ

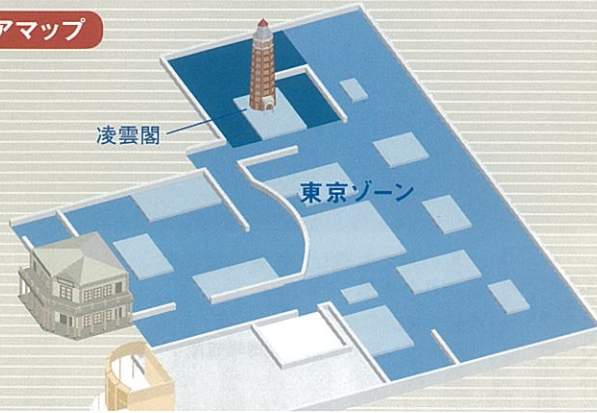
大坂冬の陣・夏の陣における信繁の戦いぶりは語り草となり、江戸時代以降、文芸や絵画をはじめ様々な作品の題材となります。真田信繁の活躍は真田幸村の名で語り継がれ、400年経った今も輝き続けています。「難波戦記」など、江戸時代の刊行物などを通じて、伝説化された英雄「幸村」の姿をご覧ください。

(学芸員 田原昇)

常設展示室がパワーアップして新装開展!!

えどはく 第4回 解体新書

5Fフロアマップ



リニューアル後の
凌雲閣はライトアップも！現代と変わらない楽しみ方が
されていたんだよ。



江戸東京博物館
公式キャラクター ギボちゃん

多彩な文化や風俗が生まれた文明開化以降の東京。情報・娯楽産業や、新聞・雑誌などのメディアの発達を、知ることができるエリアです。

T4 市民文化と娯楽

娯楽の本場、浅草のにぎわいを間近に

リニューアルしたというけれど、なかには開館時からのものを「リユース」した例もあります。たとえば「市民文化と娯楽」コーナーにある「凌雲閣(浅草十二階)」は、既存のものに新たな演出を加えて再展示した模型です。

凌雲閣は1890年(明治23)に浅草に開業した12階建ての展望塔で、まだ高い建物があまりなかった時代に、約60メートルという高さが話題を呼びました。これまでの模型では、塔を縮尺1/10にした高さで、1階から10階までが煉瓦造、11・12階が木造という特徴的な外

観のみを再現していましたが、塔の「中身」までは表現することができませんでした。

そこで今回のリニューアルでは塔の内部に光を入れ、一定の間隔で人影を窓辺に取り付けたられた「アーケライト」を光らせて夜の凌雲閣を演出し、塔の内部と塔に供給された電力の存在を印象づけました。

凌雲閣には日本初のエレベーターが設置され、各種商店や美術陳列所もありました。11・12階の展望所では東京のパノ



光と音の演出が加わった凌雲閣模型



体験展示「凌雲閣機絵双六」



入口の下足番人形。見てほしいポイントに人形を追加、配置した。

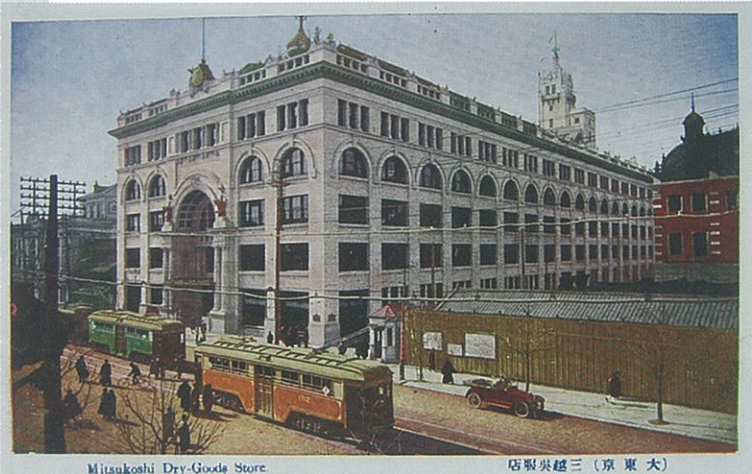
ラムを楽しみ、下層階ではショッピングを楽しむという、まさに現代の東京タワーやスカイツリーと同じ楽しみ方がされていたのです。

この様子は模型奥の壁にある体験展示「凌雲閣機絵双六」で見てもらうことにしました。この模型は小窓が開く仕掛けのついた錦絵を立体化したもので、窓を開けていくと、エレベーターをはじめ、「せんべい」「おしろい」などの看板を掲げた商店、休憩所が現れます。また、模型正面には、明治、大正期の展望所からの景色が見られるタッチパネルも設置しました。現代のパノラマともあわせ、浅草の街並みの変遷を見ることができます。

さらに、塔の点灯時には大正時代に流行した「ジンタ」のリズムが流れ、同コーナーの「電気館」模型の電飾も光を放ちます。にぎやかでもどこかもの悲しい夜の盛り場の情景を、光と音の演出で表現しています。

「リユース」した模型には、既出の電気館や、演出を刷新した「銀座煉瓦街」模型、江戸ゾーンの「棟割長屋」の増床、旧「町の構成と施設」模型の「玉川上水流域」模型への活用があります。これまでとは異なる演出や追加表現により、さらなる魅力や情報が加わったこれらの模型についてぜひご注目ください。

(学芸員 橋本由起子)



Mitsukoshi Dry-Goods Store 大東京 三越呉服店 大正10年(1921) 本店新館開店
「スエズ運河以東最大の建築」と称されたルネサンス式の建物は、日本初のエスカレーターなど最新の設備を導入。東京の新名所として話題になった。



モダンな外観！
百貨店は文化の発信地
として重要な存在だった
んだね。

「近代百貨店の誕生 三越呉服店」

3月19日(土) ～ 5月15日(日)

明治維新後、上野において明治政府主導で開催された内国勸業博覧会や、博覧会が終了した後に陳列販売方式で一世を風靡した勸工場などが、百貨店へと受け継がれていった変遷をご紹介します。1904年(明治37)の「デパートメントストア宣言」で本格的な近代的百貨店へ転換していった三越は、多くの博覧会や展覧会を主催することで祝祭空間を演出し、都市の文化を牽引しました。当館が所蔵する絵葉書、写真、ポスターなどから、今までに展示されることがない資料を中心に展観します。

江戸博には海外からのお客様もたくさんいらしています。



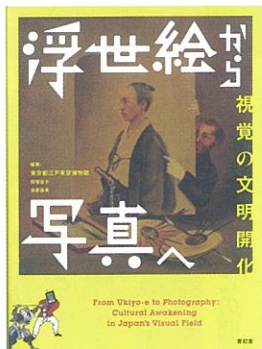
TOPICS

特別展図録 優秀論文賞受賞のお知らせ

2015年(平成27)10月から12月に開催した特別展「浮世絵から写真へー視覚の文明開化ー」の図録に掲載された岡塚章子学芸員の論文「明治期の写真 百花繚乱の時代」が美術館連絡協議会による審査の結果、「優秀論文賞」に選ばれました！

美術資料による展示の企画、及び展覧会図録の質の向上を目的としたこの賞は、毎年、全国各地で行われる展覧会から、その年を代表する優れた図録を賞しています。

特別展「浮世絵から写真へ」図録は、7階図書室で閲覧できます。この機会にぜひご覧ください。



「浮世絵から写真へ」図録(表紙)



どこから来たの？ どこが魅力？

江戸東京博物館に来てくださった外国人の方に突撃!!

Q1 出身地は？ Q2 どうして江戸博へ？ Q3 館内のどこが気になった？

from USA ジョイスさん

- A1 アメリカ合衆国
- A2 「世界スカウトジャンボリー」プログラムの一環で
- A3 江戸時代の展示

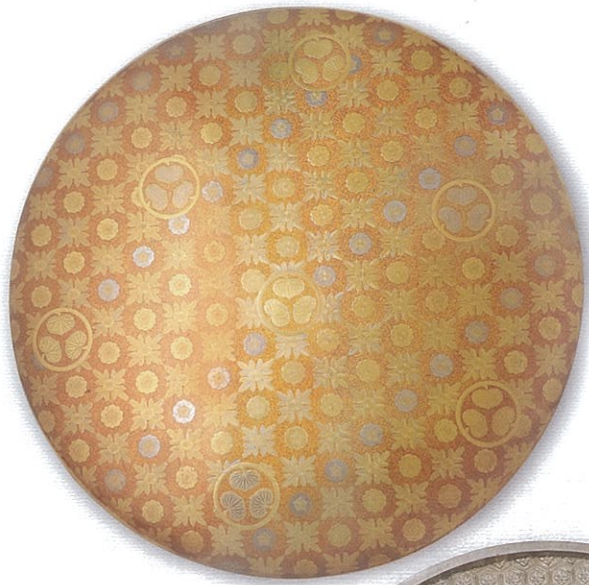


161カ国・約3万人のスカウト(14歳～17歳)がキャンプをしながら様々な体験を共有する「世界スカウトジャンボリー」の指導者です。4年に1回の世界大会が今年日本で開催されていて、その一環で江戸東京博物館に来ました。アメリカと日本では文化の広まり方や支持のされ方が違いますが、そこが面白いですね。今回は2週間なのですが、余裕があればあと1カ月くらい滞在して日本の各地に行ってみたいです！

平成27年度 新収蔵品の ご紹介

平成27年度も、みなさまのご協力によって、多くの博物館資料を収集することができました。その一部をここに紹介いたします。

※各資料の解説は、畑向子、落合則子、小山周子、西村直子が担当しました。



1. 将軍姫君の婚礼道具・ 珍しい姿見の鏡

姿見に使用された大型(直径49・5cm)の鏡とその鏡巢(鏡を納める容器)で、上半身を映して着付けを改める場合に使用されました。鏡には中嶋伊勢守藤原種定の銘があります。5代将軍徳川綱吉の養女八重姫が、水戸家へ輿入れする際に制

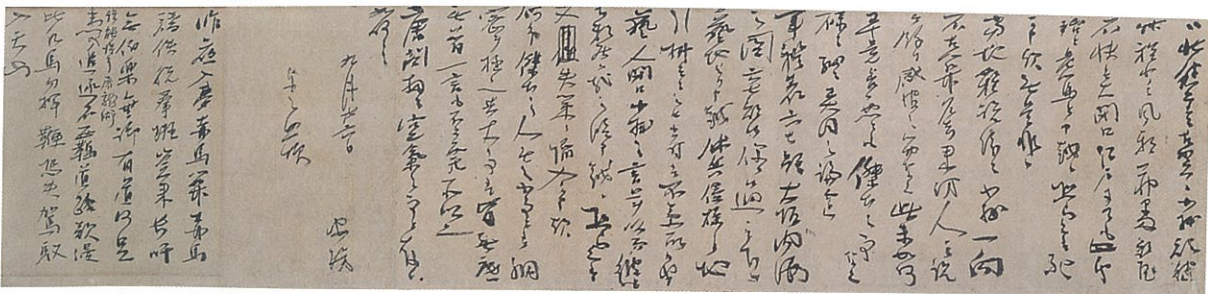
作された婚礼道具の目録の中に「姿見の鏡」とあることから、八重姫の婚礼道具と考えられます。大型の姿見鏡は、一般的な柄鏡と比べ現存数が非常に少なく、将軍姫君など特別な人物の婚礼道具と思われれます。

1.

きつこうはなびしもんじみつばあおいもんすがたみかがみつけたり
亀甲花菱文地三葉葵紋姿見鏡付
なしじあおいもんちらしまつびしうめはなもんようまきえきようす
梨子地葵紋散松菱梅花文様時絵鏡巢

1698年(元禄11)
資料番号:15200119

2. 海舟が一番弟子に 送った手紙



佐藤与之助は、勝海舟の最も信頼の篤い門弟として活躍しました。この資料は、与之助に宛てられた海舟の書簡6通と、海舟とともに江戸無血開城を導いた大久保一翁の書簡1通が貼り込まれたもので、1866年(慶応2)から翌年にかけて書かれました。この間、海舟は軍艦奉行を罷免されましたが、第二次長州戦争の勃発にともない再任され、安芸宮島で長州藩と命がけの停戦交渉をしました。海舟の書簡には、長州問題に対し煮えきらない態度を取り続ける幕府中枢部への批判が書きつづられています。一番弟子への手紙だからその海舟の率直な考えを読み取ることができます。

2.

佐藤与之助宛勝海舟他書簡貼交(部分)
佐藤与之助宛勝海舟書簡
1866年(慶応2) 資料番号15200088

3. 伝統木版で 日本観光をアピール

1930年(昭和5)より1939年まで、鉄道省(現在の国土交通省とJRRの前身)は、「JAPAN」のロゴが入ったポスターなどを毎年作成し、積極的な外国人観光客誘致活動を展開しました。このポスターは、川瀬巴水が「宮島の雪景色」の木版画を描き、それを台紙に貼ったものです。版画そのものは、江戸の浮世

絵と同じ技法で、彫師、摺師との共同制作で作られました。仕上がった1万枚のポスターは、欧米の旅行者や教育機関などに送付されました。このポスターは海外に出た後、幸運にも捨てられずに残った1枚で、このたびの収集となりました。揭示されていたためか画びょうの跡がありますが、保存状態は大変良好です。



3. 鉄道省刊行ポスター—宮島
1932年(昭和7)
資料番号:15200104

4. 100年以上の歴史を刻む フランス料理店・龍土軒

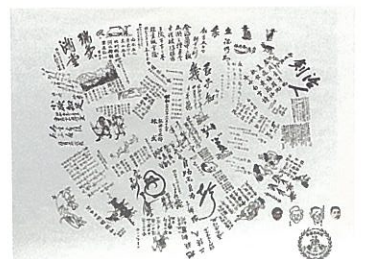
龍土軒は、1902年(明治35)に麻布区麻布新龍土町(現・港区六本木7丁目)に開店したフランス料理店です。初代店主岡野菊松は、英国大使館で料理人として勤めた後、同大使館裏に龍土軒の前身「快樂亭」を開業していました。その料理が評判を呼び、拡大移転した際、地名を屋号に取り入れ「龍土軒」となりました。この時代より文学者を中心とした会合「龍土会」が同店で開かれ、自然主義作家(国木田独步、島崎藤

村、柳田国男、田山花袋など)のほとんどが参加し、「自然主義は龍土軒の灰皿の中から生まれた」とさえ言われました。現在、龍土軒は西麻布に店舗を移転し、4代目の方が経営しています。同店は、近代日本文学の興起に大きく寄与したのです。

4. 大皿(龍土軒使用)
明治後期
資料番号:15000051



4. 龍土軒アンダーペーパー
(紙製ランチョンマット)
1961年(昭和36)~
1965年(昭和40)
資料番号:15000046



5. 信長の末裔が描いた 戦禍の東京

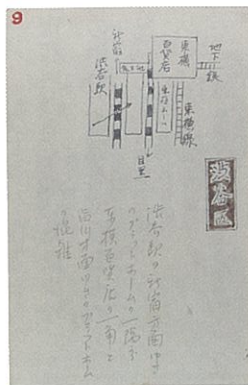
1945年(昭和20)3月10日の東京下町大空襲の後、東京はたびたび空襲に見舞われ、都心部から山の手に至るまで焼野原になりました。本資料は、その風景を水彩で描いた全159枚のスケッチです。

作者の織田信大氏は、織田信長の末裔である旧丹波柏原藩主(子爵)の家に生まれ、東京美術学校洋

画科を卒業、美術出版を手掛ける会社の役員を務めました。

作品は軍事郵便などの葉書を使い、裏面に描いた地点を明示して簡単なコメントが書かれています。織田氏は東京の各地をめぐる歩き、熱心に筆をとりました。画家の立場から戦争の惨禍を記録した資料として注目されます。

5. 東京戦災スケッチ
渋谷駅ホームより
東横百貨店の一角を
1945年(昭和20)6月2日
資料番号:15000090



江戸狩野家合作「武州州学十二景図巻」

尚信が描いた三景について

都市歴史研究室 学芸員
朴美姫・文

木

晩町狩野家の祖、狩野尚信は1607年(慶長12)10月6日、

狩野永徳の次男、孝信の子として京都に生まれた。1618年(元和4)に別家していた兄探幽の代わりに父の跡目を継ぎ、のち1630年(寛永7)には江戸に召し出され、徳川秀忠と御目見し、幕府御用絵師となった。兄探幽については先学により様々な場で論じられ、彼の画才は広く知られている。尚信も探幽と同じく画才に恵まれ、特に水墨画において新境地を拓き、探幽とは多少ニュアンスの異なる画風を開拓した。

本稿で紹介する資料は探幽・尚信・安信三兄弟と探幽の養子、益信による合作「武州州学十二景図巻」の内、尚信筆の三枚である。「武州州学十二景」の十二景とは、江戸初期の儒者で幕府儒官林家の祖、林羅山(1583~1657)が私塾として上野忍ヶ岡に開いた学問所弘文院にあった先聖殿から眺望される十二の名所のことである。羅山はこの景観を「武州州学十二景」と題し、詩を詠んだ。のち、羅山の子春斎が詩に応じ

た絵を幕府御用絵師狩野家に描かせ、1648年(慶安元)に羅山自筆の跋文を加えたのが本資料である。

尚信が描いた三図のうち「金城初日図」は、初日に浮かぶ江戸城の姿である。天守を中央に配し、淡い朱色の一筋の光が天守に届き、吉兆を象徴的に表している。墨の濃淡を巧みに利用し、余白を十分に

とった表現は、豊かな詩情を見事に醸し出している。

「南郷菅祠図」は江戸開府以前から存在した湯島天神を描いたものである。湯島天神は本郷台地の東端の崖沿いにあり、本図も高台から見下ろしたような構図と考えられる。水墨の濃淡により立体感と奥行きを表しており、初めて本図巻を紹介した米沢嘉圃氏によると「滋潤な水墨は、洗練されつつした筆の捌きに

乗って豊かな情感をたたえ、清澄瀟洒な画趣を展開している」とする。

「隅田長流図」は隅田川を描いたもので、湿潤な大気を実感させる。隅田川の真ん中に描かれた赤いくちばしの黒い鳥は『伊勢物語』九段目を引用する漢詩から考えて、都鳥であろう。

本資料は尚信の水墨表現を語る上でなくてはならない資料であり、明暦の大火以前の都市江戸の姿を描いた数少ない絵画資料の中で、重要な位置を占めるものである。



武州州学十二景図巻「金城初日図」 資料番号:88200001



同「南郷菅祠図」



同「隅田長流図」

江戸東京博物館にはお知らせしたい事がいっぱい♪ 待望の最新図録情報も!!



図書室から LIVE REPORT

「レファレンス」とは？

レファレンスとは、利用者が学習・研究・調査などで図書室に情報を求めた場合に、図書室の機能を活用して、参考となる資料をご案内するサービスです。江戸東京の歴史と文化に関する資料をお探しの際はお気軽にご相談ください。

どんなご相談が寄せられるのかは、当館と事例を提供している国立国会図書館のホームページでもご覧いただけます。また、レファレンスの際に心がけている点などについて当館司書が執筆している『図書館雑誌』（平成28年1月号・日本図書館協会）もご覧いただけますので、ぜひお立ち寄りください。

「図書室レファレンス事例集」(江戸東京博物館)

<http://www.edo-tokyo-museum.or.jp/purpose/library/reference/>

「レファレンス協同データベース」(国立国会図書館)

<http://crd.ndl.go.jp/reference/>

お知らせ

常設展示図録が新しくなりました！

お待たせしました！リニューアルした常設展示の内容をふんだんに盛り込んだ「江戸東京博物館常設展示総合図録」の登場です。新たに登場し注目を集めている「江戸から東京へ」「現代の東京」コーナーをはじめ、常設展示全20コーナーの展示解説や主な展示資料、人気の体験型展示の紹介、リニューアルを担当した学芸員によるみどころコラムなど、読み応え充分な一冊に仕上がっています。当館の広々とした常設展示室の情報を、ぜひお手元にいかがでしょうか。皆様のご利用をお待ちしています。



4月より
当館ミュージアム
ショップで
販売予定

「江戸東京博物館 常設展示総合図録」
A4縦 約120ページ オールカラー

リニューアルした
えどはくの見どころ
がぎゅぎゅ〜っと
詰まってるよ!!



【主な内容】

■江戸ゾーン (Edo Zone)

- E1 江戸城と町割り
- E2 町の暮らし
- E3 出版と情報
- E4 江戸の商業
- E5 江戸と結ぶ村と島
- E6 江戸の四季と盛り場
- E7 文化都市江戸
- E8 江戸の美
- E9 芝居と遊里
- E10 江戸から東京へ

■東京ゾーン (Tokyo Zone)

- T1 文明開化東京
- T2 開化の背景
- T3 産業革命と東京
- T4 市民文化と娯楽
- T5 関東大震災
- T6 モダン東京
- T7 空襲と都民
- T8 よみがえる東京
- T9 高度経済成長期の東京
- T10 現代の東京

■常設展示室内における各種事業

- ミュージアム・ラボ
- 体験展示
- 常設展示室での催し物
- 常設展示室でのサポートサービス



桜の名所で堪能する
錦絵や工芸品の数々

江戸東京たてももの園にほど近い小金井堤は、玉川上水をはさみ、かつては桜の木が連なる地として知られていました。これらの桜は江戸時代中期に大和の吉野山、常陸の桜川から移植されたもので、小金井橋の付近が最も美しい景色とされました。

以来、明治期に入っても郊外の名所として愛され、1924年(大正13)には、花見のための臨時乗降場として、現在の武蔵小金井駅が設けられました。

この展覧会では、小金井の桜を中心に、江戸東京の桜の名所と桜にまつわる風俗などを、江戸東京博物館のコレクションのうち錦絵や工芸品、絵葉書などの資料を通して紹介します。

特別展

「小金井の桜」

「春の江戸東京名所めぐり」

開催中 5月8日(日)



しだれざくら うめもんゆうぜんぞめさいふ
垂桜と梅文友禅染財布
資料番号:93201091

催し物のご案内 春期ふれあい体験教室

事前応募制教室

●歴史散歩「江戸名所図で歩く神田界限」

5月21日(土) 荒天時は5月28日(土)に順延
集合/13:00 時間/13:15~16:00
対象/一般 定員/20名 応募締切/5月7日(土)

※参加料無料 ※講師/ふれあいボランティア



お申し込み方法

往復はがきに住所・氏名・ふりがな(2名まで)・年齢・電話番号・希望講座名を明記の上、下記へ(締切日消印有効)
〒130-0015 墨田区横網1-4-1 江戸東京博物館
ボランティア事務局 ふれあい体験教室係

●8枚羽根のかざぐるまを作る

4月2日(土)
時間/各日13:30~15:00
対象/小学生以上
低学年は親子で
定員/先着25名

●歌舞伎の鳴り物をならしてみよう

4月16日(土)、5月21日(土)、
6月18日(土)
時間/ ①12:00~12:30
②14:00~14:30
(※各回とも時間内にお越しください)
対象/幼児~一般

●水無月茶席

6月4日(土)
時間/ ①13:00~13:30
②13:45~14:15
③14:30~15:00
(整理券配布は12:00~会場前)
対象/一般
定員/各回15名
【場所/1階会議室】

両国にぎわい祭り
参加教室江戸博会場

場所はいずれも3階江戸東京ひろば北側休憩所

●藍色のオリジナル
敷物をつくる

4月30日(土)
時間/ 13:00~14:30
(受付開始12:50)
対象/小学生以上
定員/先着60名

●手描き風鈴を作る

5月1日(日)
時間/ ①10:30~11:15
②11:30~12:15
(整理券配布は10:15~会場前)
対象/小3~中学生まで
定員/各回10名

●和算パズル

4月9日(土)、6月4日(土)
時間/各日13:00~15:30
(受付終了15:00)
対象/小4以上

●ときめきキモノ体験

4月23日(土)
時間/ 10:30~12:00
(受付終了11:30)
対象/3歳以上 定員/15名

●江戸模様で遊ぼう

-消しゴムはんこで千代紙をつくる-
6月12日(日)
時間/ 13:00~15:00
対象/小学生以上
定員/30名

●反古紙で折る小物

-江戸のエコロジーを見習おう-
4月9日(土)、6月4日(土)
時間/各日13:00~15:30
(受付終了15:00)
対象/小学生以上



※いずれも参加料無料(常設展示室内で開催の教室は観覧券が必要) ※場所の表記がない場合、常設展示室5階ミュージアム・ラボで開催。
※講師/ふれあいボランティア ※3階江戸東京ひろばで開催の教室は、荒天などによるひろば閉鎖時は中止となります。

ミュージアムトーク

企画展

「近代百貨店の誕生
三越呉服店」みどころ
4月1日、8日

町の暮らし

4月15日、22日
江戸の四季と盛り場
4月29日、5月6日

市民文化と娯楽

5月13日、20日
文明開化東京
5月27日、6月3日

江戸の美

6月10日、17日
江戸城と町割り
6月24日

常設展示室のみどころを
学芸員が解説します。

日時/毎週金曜日 16:00から
常設展示室5階の日本橋下までお集り
ください。所要時間は約30分です。

来館のご案内

JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分、東口から徒歩7分
都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分
都バス錦27・両28・門33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2016年(平成28)3月25日(金)

編集・発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館 〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

印刷・制作 株式会社D_CODE